

裁定システムファンド 月次運用報告書 (2016年4月度)

あい証券株式会社

作成日 2016年05月20日

運用概要

4月はドル/円ポジションの取引からの主な利益によって約0.27%の運用実績を上げました。

米国の追加利上げ観測後退、日本の安倍首相が「恣意的な為替市場への介入は慎まなければならない」との認識を示したことから円は107円台まで急騰。麻生財務相の円高牽制発言で値を戻したが、ルー米財務長官が為替介入を牽制したことから再び円高へ。熊本地震の影響から、日銀の追加緩和期待が高まり111円台後半まで円安が進むも、日銀の金融政策決定会合では市場の期待に反して追加緩和は見送られ106円台まで円高が進むなど大きな動きとなった。

ユーロは、欧州中央銀行のドラギ総裁が、これまでの金融緩和のスタンスに変化がない事示したことから軟調推移も、米国が追加利上げに慎重な姿勢を示したことから反発するなど一進一退の展開となった。

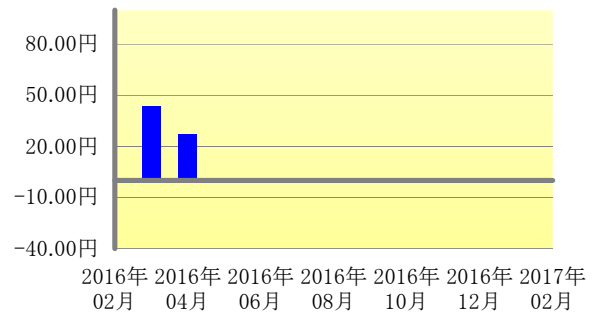
ポンドは、欧州連合（EU）残留か離脱かを問う国民投票に対する世論調査の結果で、前半は離脱優勢でポンド安、後半は残留優勢でポンド高と世論調査の動きに振られる形となった。

実績パフォーマンス

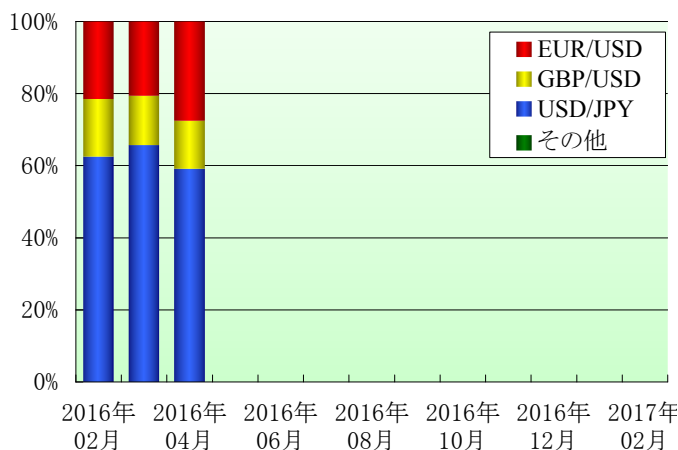
1. 基準価格の推移

	基準価格	
	(分配込)	(分配後)
2016年02月	10,000.0000 円	10,026.7625 円
2016年03月	10,043.5146 円	10,000.0000 円
2016年04月	10,070.6539 円	10,027.1393 円
	円	円
	円	円

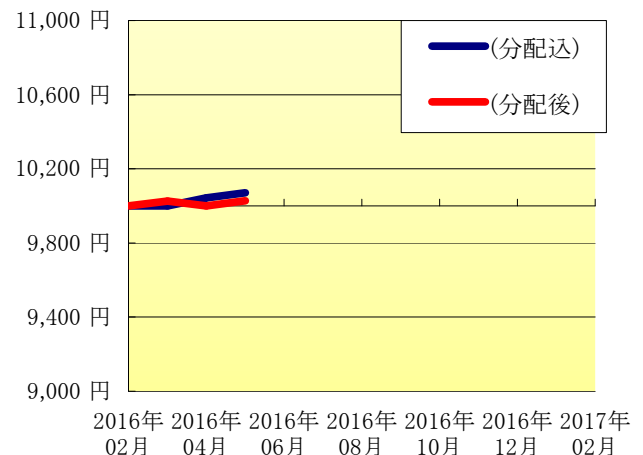
2. 月次収益の状況(設定開始以来)



3. 通貨別収益構成比推移



4. 基準価格推移(設定開始以来)



※ 基準価格(分配込)とは、設定来より継続的にファンドを保有して、仮に課税前の分配金を受領せずに再投資しなかった場合の参考値です。

1口100万円当たり分配金(税引前)

分配月	3月	6月	9月	12月	年度別合計
2016年度	4,351 円	円	円	円	4,351 円

この資料は、投資判断の参考となる投資方法、投資理論等の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。従って、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。この資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、あい証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。この資料に記載された事項は、作成日におけるものであり、予告なく変わる場合があります。この資料は、あい証券から直接提供するという方法でのみ配布致しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。この資料のいかなる部分も一切の権利はあい証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行なわないようお願い致します。